

Okayama Research Park Incubation Center

ORIC NEWS 翔飛 ひしよう

入居者紹介



詳細は6ページをご覧ください

— 本号の主な内容 —

- 巻頭言
- 研修・交流会活動
- 新入居者紹介
- 入居者紹介
- 入居者の活動・トピックス
- イベント案内

No.55 (2017.1)

すべての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き生き岡山」を目指して

岡山県知事 伊原木 隆太



新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年行われた知事選挙におきまして、皆さまのご信任をいただき、引き続き県政を担わせていただくこととなりました。我が国は、人口減少問題の克服が喫緊の課題となっており、本県においても、おかやま創生の実現に向け、総力を挙げて取り組まなければならない大変重要な時期にあります。こうした中で、2期目の県政を担うことができますことは、誠に光栄なものと存じますとともに、改めてその重責に身の引き締まる思いであり、決意新たに新年を迎えました。

これまでの4年間、顧客重視、コスト意識、スピード感の3つの視点に立ち、前例踏襲を是としない県政運営に努めてまいりました。

しかし、県政の基本目標である「生き生き岡山」の実現は道半ばであり、この好循環の流れを一層加速させるため、「教育県岡山の復活」と「産業の振興」を本県発展の好循環のエンジンに、成果が実感できる県政をさらに推し進めてまいり所存です。

現在、新たな県政の羅針盤である「新晴れの国おかやま生き生きプラン（仮称）」の策定作業を進めており、皆様からのご意見を反映させた上で、3月までの策定を目指しています。

昨年公表した新プランの素案は、現プランの方向性を基本としつつ、地方創生や働き方改革、グローバル化の進展など、新たな動きを踏まえたものとし、さらに、政策間連携はもとより、市町村連携や官民協働など「連携」をキーワードに新たな事業にチャレンジする「おかやま創生推進連携プロジェクト」を掲げています。

重点戦略の一つである「地域を支える産業の振興」には、魅力あるしごとづくりが不可欠であり、本県の産業構造に厚みを与え、新たな雇用を創出するベンチャー企業の成長は欠かせません。

今後も、岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）を拠点として、新たな市場を切り開きイノベーションを起こす技術開発、市場のニーズに即した優れた製品の販路開拓などを支援し、ベンチャー企業の育成に取り組んでまいります。

皆さまから寄せられた信頼とご期待にお応えするため、新プランを策定した上で、この新たな羅針盤に沿って、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現に全身全霊で取り組み、成果が実感できる1年となるよう全力を尽くしてまいります。皆さまには一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

■ 平成28年10月度ORIC交流会

● バーベキュー交流会

毎年秋に開催する恒例のバーベキュー交流会を、今年も10月20日にORIC中庭で開催しました。昨秋のバーベキュー交流会で好評を博した「笠岡ラーメン」に加え、石臼型コーヒーミルで挽いたコーヒー豆を使って一杯毎に抽出するコーヒーサービスもありました。

今回のバーベキュー交流会もORICと支援機関の関係者が参加し、参加者は約80名と前回を上回る参加者となりました。開催はORIC IMの乾杯の挨拶で始まりました。ORICでの活動状況のほかに、互いの趣味や出身地、共通の知人・関心事などを話題にして、参加者の人脈形成を意図する開催主旨は実現したようです。また、入居企業の社員家族の参加も前回より増えて、子供たちの歓声もバーベキュー交流会を盛り上げてくれました。

「笠岡ラーメン」は昨年の評判もあり、長い列ができました。今回が初となったコーヒーにも希望者殺到で人垣ができるほどの盛況から、一時は提供が間に合わない状況となりました。好天に恵まれたうえ、二つのイベントが加わったことで例年以上に雰囲気盛り上がったバーベキュー交流会となりました。

終了後は多くの参加者の方々の積極的なご協力により、スムーズに後片づけを行うことが出来ました。スタッフ一同感謝しております。



笠岡ラーメン



石臼型コーヒーミル

■ 平成28年11月度ORIC交流会・セミナー

● 入居者紹介

「安心を身につける “ミモトブレスレッド” 事業のご紹介」 フォーユアジュエルズ



代表の中島祐介氏から「安全を身につける “ミモトブレスレッド” 事業のご紹介」という演題で、この事業を始めたきっかけ・商品のポリシーを含む事業内容、マーケティングや加工技術、ORICでの新規開発テーマなどについて詳細な説明がありました。同氏はもともとジュエリーのオーダー製作を行ってきましたが、東日本大震災での多数の身元不明遺体の発生やご自身の祖母の認知症に伴う徘徊対応などに遭遇したことがきっかけで、それまでに培った技術などを生かしてこれらの問題への対応策の検討を進められました。特に徘徊の現状調査は詳細に行い現在対応策とされている「GPS機器や身元カードの携行」の欠点を抽出しました。そしてこれを解決する方法として「身元情報の常時着用」をコンセプトにした、より安心な対応策としての“ミモトブレスレッド”を開発した、とのこと。 “ミモトブレスレッド”を世に出すにあたり、i) 第三者が情報を読み取れ、情報は操作不要なアナログ、ii) 人体に優しい（ネックレスでは危険性がある）、iii) 愛着が持てるアクセサリ感覚、iv) 低価格、をコンセプトとして商品化したとのこと。また、レーザーによる刻印を行うことで明瞭で深い刻印を実現し商品イメージを高くしたとのことでした。販売は個人情報保護の観点から「フェイス・トゥ・フェイス受注」を基本とし、注文・販売記録などはすべて紙ベースでの保管とすることで、個人情報の流失が発生しない工夫の徹底を行い、これを重要なセールスポイントにしたとのことでした。今日までにグランドゴルフ協会、地域包括支援センター、

ハートフルビジネスおかやま、NPO法人あんしんネット、福祉用具販売会社、県や各所轄の警察署・消防署、などを訪ね商品説明を実施されてきたとのことです。今後はこれらのネットワーク化やフランチャイズ化を通して、効果的なマーケティングを行うとのことでした。またORICでは、次世代向けとして“GPSを組み込んだミモトプレスレッド”を開発していくとのことです。

人口構成の高齢化の加速や不測の大天災の発生などが続く現代にあって、ますます“ミモトプレスレッド”の必要性が高まることが期待されます。

●ORICセミナー

「岡山から世界に広がる『痛み』がない社会の実現へ 筋膜吸引機器～メディセル～について」

(株)MJカンパニー 代表取締役 渋谷智也 氏



MJカンパニー代表取締役の渋谷智也氏から、同社が世界展開を望んでいる「痛み」改善システム「メディセル」について説明していただきました。

同社は平成12年の設立で、今年で16年目になります。もともとは、美容面で気になるポコポコ脂肪の「セルライト」を外側から吸い取って解消する機器を販売していました。その施術をする過程で、利用者から肩こりが軽くなった、というような反応を得て、現在の「筋膜吸引器～メディセル」の開発に至ったとのことです。

「メディセル」の原理は、近年「凝り」等の「痛み」の原因として注目を浴びている筋肉に癒着した「筋膜」を、外側から吸引して筋肉から引きはがし、それにより血行を改善する、というものです。肩こりに筋膜が影響していることは、例えば、2015年放送のNHK「ためしてガッテン」でも紹介されています。関係学会などでも認知されてきているとのことです。筋肉と皮膚との間を取り持っているのが筋膜で、正常な状態では筋膜が筋肉と皮膚との間に「すきま」を作って潤滑することで両者がスムーズに動けるようになっています。しかし、いわゆる「凝り」の状態では、筋膜が筋肉に癒着して、筋肉と皮膚とがスムーズに滑らなくなった状態だそうです。このような状態では、皮膚のすぐ内側にある痛みの受容体を筋肉が圧迫してしまうことにより痛みとして感じる、ということが近年わかってきました。メディセルはまさに、吸引によってそのような癒着を剥がし、血行を改善して、痛みの真の原因を取り去る、とのことでした。

しかし、理屈を言われても、にわかには信じられません。そこで、実際に持参していただいた「メディセル」で施術していただきました。普段から肩こり、腰痛、眼精疲労などに悩まされているセミナー参加者の5人が体験しました。わずか数分の施術ですが、次から次と、「軽くなった」、「痛みが取れた」との声が上がりました。まるで「サクラ」のような変わりようです。筆者も半信半疑で施術を受けましたが、積年の肩こりと首の痛みが、あれよという間に改善しました。これはとんでもない器械だと実感しました。



「メディセル」体験の様子

このように、効果の高い装置ですが、渋谷社長はこの器械で痛みを取り去ることで、高齢者の痛み起因する運動不足、引きこもり、さらには認知症に至ってしまう悪循環を解消し、一億総活躍の社会に向けて貢献できることを期待しています。

なお、この装置は100万円を超える価格ですので、個人での購入は難しいですが、「MJカンパニー」のホームページで、すでに導入されている治療院が紹介されていますので、そちらで施術を受けて下さい、とのことでした。

高齢化社会の医療費削減に、新たな処方箋が見つかったと思えました。

● 入居者紹介

「メディカルクラフトン株式会社の紹介及び特長」 メディカルクラフトン(株)



代表取締役の松尾健哉氏から同社の事業について説明していただきました。同社は北大・岡大発のベンチャーで、JSTやAMED（日本医療研究開発機構）の支援を受けている医療系ベンチャーです。主な事業は、「リン酸化プルラン」という物質を使った接着性人工骨の開発と、別の物質による抗菌剤の開発とのことです。昨年4月に設立され、現在の従業員は5名とのことです。

第1の事業であるリン酸化プルランを用いた接着性人工骨は、歯科または医科を対象とした商品です。歯周病という歯のまわりの歯肉が減退してしまい、歯がぐらついて抜けてしまう病気が、現在大きな問題になっています。これには、汎用性の高い治療法が無いとのことです。同社が扱うリン酸化プルランは、多数のリン酸により組織への接着性が良好で、水に溶けやすく生体吸収性もよく、ペースト状に加工して痛んだ歯の周囲に施術できるそうです。またこのペーストは、「インプラント歯周炎」というインプラントの周囲の歯肉の減退にも施術できるとのことでした。せっかく高いお金を使ってインプラントを入れても「インプラント歯肉炎」になってしまっただけでは役にたちませんので、その面でも期待されているようです。なお、このリン酸化プルランは、「林原」が製造し、世界シェア100%だそうです。

第2の事業としては、CPC担持モンモリロナイトという物質を使った抗菌剤の販売です。この物質は、抗菌剤としてよく利用されている銀ゼオライトが使用中に黒色化するのに対して、変色しない特徴があり、入れ歯の接着剤に混入させたり、歯の矯正部分の虫歯化に対応させたりする用途など、様々な用途があるようです。また、同社の親会社は、サポーター製造の「ダイヤ工業」であるので、同社のサポーターを作る繊維にこの抗菌剤を入れて、臭気対策に使用する用途もあるようです。（サポーターは洗濯しない人もいるようで、サポーター本来の機能の他に、臭気対策が隠れたニーズになっているとのことでした）

今後は、第1と第2の事業を段階を追って発展させていきたいと抱負を語っていらっしゃいました。

新入居者紹介

平成28年9月に開催された第54回入居審査会により下記2者の入居が決まりました。

入居者名	事業概要	所在地	分野
メディカルクラフトン(株)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抗菌機能を持つ化合物と特殊な無機粉体との組み合わせによる新しい抗菌システムの開発 ・ 新しく開発した抗菌システムの多方面への用途展開・事業化を推進 ・ 岡山大学発技術を用いた新しい接着性人工骨類の開発・事業化 	岡山市	ものづくり
フォーユアジュエルズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身元確認に必要な情報を刻印され、徘徊対策などに活用できる「ミモトプレスレット」の製造販売 ・ 「ミモトプレスレット」関連商品の開発とその活用方法の開拓 	岡山市	ものづくり

建築とICTと3D技術の融合で、中小工務店のビジネスの成功に貢献したい。

3D | 住宅・建築模型作成サービス

ネットモケイ

困っていたんです。

恐らく私だけではないと思いますが、日々設計業務の中でずっと悩んでいたことがありました。それは「頭にある計画建物のイメージをどうやってお施主様に伝えるか？」と言うことです。

そう言った事の解決に高価な3DCADを購入して操作も覚えましたがお客様に家でゆっくり見てもらえず、結局パースを数枚作って持って帰ってもらうという状況でした。

また、お施主様からしても、結局建物が建つまでの長い間確かなイメージを持つことができませんので安心できず、図面を眺めてはより不安が増してしまう、そんな状況にもなりかねません。

サービス開発のきっかけ、経緯

テレビせとうち株式会社のパノラマネット住宅展示場「ななちゃんランド」の開発に携わりました。ネット上で3D住宅モデルを360°見ることができる展示場です。その開発の中でお施主様とのイメージ共有にこのシステムが使えるのでは？というのが開発のきっかけでした。そして中小工務店の方にヒアリングを重ねる中で「高価なCADを導入できない、導入しても使いこなせない」「操作を覚えるヒマがない」等の課題が見えてきました。そこで高価なCADを購入して自分で3Dモデルを作るという従来のやり方ではなく、3Dモデル製作自体をアウトソーシングして、誰でも見れるよう、ネットで配信すれば喜んでもらえるのでは？と思い、「ネット」で見れる建築「模型」で「ネットモケイ」と命名し、サービスを開始しました。

ネットモケイの特徴

従来のようにCADソフトの購入や高額な月額費用を払う必要もなく、必要な時にいつもの図面をメール、ファックスで送ってもらうと弊社が3Dモデルを作成して、ネットで見れるように変換したネット上のアドレス（URL）をお送りします。届いたメールのURLをクリックするとPC・Mac、スマホ・タブレットでブラウザの中で3Dモデルが見れるという仕組みです。操作を覚えたりする必要もないので、工務店は今までの仕事のやり方を変えることなく手軽に3Dプレゼン環境を導入できます。「必要な時

だけリーズナブルな価格で使えるのが助かる」とのお声も頂き、リピートで採用いただける工務店やビルダーも増えてきました。

どういったメリットを提供できるか？

お施主様にとっては「安心」できるとおっしゃっていただけています。お施主様ご自身で想像する必要がないので、完全に同一のイメージを工務店等と共有できることが大きいとのこと。空間をイメージすることが苦手な方には特に喜んでいただけます。

工務店にとってのメリットはズバリ「打ち合わせ回数の半減」「資料制作の時間とコストの削減」になります。お施主様はご自身の家なのでネットモケイをくまなく見てくださいます。そして質疑や変更依頼が一度にドカッと出てきます。それを設計に反映させると本当にスムーズに手戻りもほとんどなく進みます。

お施主様に「安心」してもらえて尚且つ「早い」！これがネットモケイのメリットです。

今後の予定や将来の展望など

新築住宅だけでなく店舗や事務所、またリフォームなどでも使っていただけるよう機能強化を図ります。

今のネットモケイは計画の第1段階であり、今後の第2、第3の計画の実現に向けて準備を進めています。

受賞歴

- 2015年9月
しんきん合同ビジネス交流会
ビジネスコンテスト 優秀賞
- 2016年2月
ベンチャービジネスプランコンテスト
おかやま2015 最優秀賞
- 2016年10月
おかやまIT経営力大賞 チャレンジ特別賞

株式会社スーパーワークス

代表取締役 岩城 裕介

HEAD OFFICE

岡山市南区新保1142-1
〒700-0945

T: 086-201-0810
F: 086-221-0039

ORIC BRANCH

岡山市北区芳賀5303 ORIC211
〒701-1221

E: info@superworks-inc.com
H: http://superworks-inc.com

■ 「東京ビジネスサポーターズミーティング 及び産業交流展2016」 参加レポート (株)スーパーワークス

ORIC 販路開拓支援金の活用実績をレポートして頂きました。

弊社は10月11日にTKP赤坂駅カンファレンスセンターにて行われました「岡山ビジネスサポーターズ・ミーティング」、10月31日から11月2日までの3日間東京ビッグサイトで開催されました「産業交流展2016」への参加の機会をいただきました。その際の様子をお話しさせていただきます。

「岡山ビジネスサポーターズ・ミーティング」(以下ミーティング)とは首都圏で活躍されている、岡山県にゆかりのある企業経営者(サポーターズ)の講演や、そのサポーターズの前で岡山の企業が自社のプレゼンを行い販路開拓などについてアドバイスをいただくマッチング、そのほか交流会など、岡山と首都圏の架け橋となるビジネスネットワークを構築する会です。

弊社もマッチングでプレゼンテーションをさせていただき、貴重なアドバイスも数多くいただくことができました。また交流会やその後の懇親会などでも親身にアドバイスやアイデアをいただきました。今後の経営のヒントになる気づきも多く、非常に実りのある会となりました。またサポーターズの方々とはその後も継続的にご縁をいただくことができ、「産業交流展2016」(以下展示会)で再度上京した際にも展示会場のブースへ訪問いただいたり、展示会の終了後サポーターズの方に取引先や関係先へとわざわざ時間を割いてご案内いただいたりと本当に親身にサポートいただきました。

展示会は関東の出展企業に加え、我々全国からの出展者に加え、参加企業1,000社を超える大展示会となりました。また本展示会の他にも同会場で3つの展示会が開催されていたこともあり、会場全体で人はかなり多く、ネットモケイもブースで、プレゼンでしっかりアピールしてきました。また全国から出展していた企業とも業界を問わず情報交換を行うことができました。

最後にミーティング、展示会への参加にあたって、ORICの「ORIC入居者販路拡大支援事業支援金」を活用させていただき、旅費交通費や販促品の費用の一部をご支援いただきました。まだまだ駆け出しの弊社のような企業にとって大変心強い制度だと思います。改めてORICの皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。会社の発展、地元に貢献できる企業になることでお返しできるように今後も努めてまいります。ありがとうございました。



イベント案内

■ 平成28年度岡山県経営革新アワード 授賞式及び経営革新セミナー

(主催：岡山県、(公財)岡山県産業振興財団)

◆開催日：平成29年1月18日(水)
12:10～15:10

◆場所：コンベックス岡山国際会議場

◆開催概要：

①経営革新アワード授賞式：経営革新への取組により経営の向上が顕著で、他の模範となる企業を表彰します。

②経営革新セミナー

演題：「よなよなエールの成長戦略
～8年連続赤字から11年連続
増収増益までの軌跡～」

講師：株式会社ヤッホーブルーイング
代表取締役社長 井出 直行 氏

■ 岡山新商品フェスタ2017 WINTER ー販路開拓商談会ー

(主催：岡山県、(公財)岡山県産業振興財団)

◆開催日：平成29年1月23日(月)
13:00～17:00

◆場所：岡山ロイヤルホテル 2階
光楽の間 参加無料

◆開催概要：

①販路開拓商談会

セラーがバイヤーへ売り込む予約制の個別商談会。
県内外のバイヤー40社程度が参加予定。
食品(飲料含む)を製造・生産する中小企業が対象。

②出前個別相談会

経営全般・販売戦略・パッケージデザイン・知的財産等各種支援について

■ 「創業相談会」

- (主催：おかやまインキュベータ協議会、岡山県、(公財)岡山県産業振興財団、岡山県立図書館)
- ◆ 開催日：平成29年2月25日(土) 13:00～17:00
 - ◆ 場所：岡山県立図書館 参加無料
 - ◆ 開催概要：創業に関心のある方々が、起業に関する専門家であるインキュベーションマネージャー、中小企業診断士等と1人約30分個別に相談することが出来ます。

**入居者
募集中!!**

センターでは随時入居のご相談に応じています。
お気軽にお問合せください。

Tel 086-286-9116



研究室小



研究室大

創業・第二創業を希望する方への支援が充実!!

- ・毎月の賃料が半額になる制度(創業5年未満かつ入居後3年間)
- ・岡山県工業技術センターの設備使用料が半額になる制度(入居後3年間)
- ・低価格で顧問専門家へ相談できる制度 など

■ 施設使用料・空き室状況

(2017年1月現在)

施設区分	面積	使用料の月額	減額後の使用料※	部屋数	空き室数
研究室小	約 25 m ²	46,280 円	23,140 円	22	7
研究室大	約 50 m ²	90,510 円	45,255 円	28	6
試作開発室	約 100 m ²	180,000 円	90,000 円	6	0
創業準備室	5 m ² /ブース	5,000 円		6ブース	5ブース

※創業5年未満の企業及び個人は、入居後3年間は減額になる制度があります。

■ 次回募集

原則として3ヶ月ごとに入居審査会を開催しています。
次回は2月末までに事業計画書を提出された方を対象に、3月中に開催の予定です。
(創業準備室の募集は随時受付けています。)
詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.oric.ne.jp>

